

HONG KONG LINER



香港電影發展局の王英偉（ウィルフレッド・ウォン）主席（写真・前列中央）、欧慧心（ウィンサム・アウ）首席代表（前列右から5人目）、香港電影發展局事務局長を務める文創産業發展処の麥聖希（ゲイリー・マック）副コミッショナー（前列左から5人目）と、アクションスターのサム・ハン氏（前列右から6人目）、監督・脚本家・俳優のマイケル・ホイ氏（前列左から6人目）ら香港映画関係者

東京でのレセプションで香港映画産業をPR

東京国際映画祭期間中に開催された「香港ナイト」に、サム・ハン氏をはじめ多くの香港映画人が参加

文創産業發展処と香港電影發展局は10月31日、香港映画産業の活気をアピールする「香港ナイト」レセプションを東京で開催しました。同レセプションは香港經濟貿易代表部が後援したものです。

東京国際映画祭 (TIFF) および「香港映画祭 2024 Making Waves – Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」と連動したこのレセプションには、香港、日本、そして海外の映画関係者ら約300人が出席しました。

香港電影發展局の王英偉（ウィルフレッド・ウォン）主席は歓迎の挨拶で、香港映画5作品が TIFF での上映に選ばれたことをうれしく思うと述べています。また、今年の TIFF では、香港を代表する俳優の1人であるトニー・レオン氏がコンペティション部門の審査委員長を務め、香港アクション映画の巨匠ジョニー・トー監督も審査委員として参加しました。「これは正に、香港映画界を代表するベテランから若い世代の監督や俳優に至るまで、香港の映画人が皆、才能とエネルギーに満ちあふれている証です。その創造性と情熱により、国際舞台で彼らがさらに輝くことを願っています」と王主席は語りました。

続いて挨拶に立った香港經濟貿易代表部の欧慧心（ウィンサム・アウ）首席代表は、TIFFに加えて、「香港映画祭 2024 Making Waves」が香港国際映画祭協会の主催で11月に東京、大阪、福岡の3都市で開催されることを紹介。「香港映画の美学は、映画ファンの心の中で特別な場所を占めています。香港の街並み、街角の風景、芸術感覚や環境は非常にユニークで、香港ならではのものです。日本の皆さまが、素晴らしい映画作品を通じて東洋と西洋が融合した香港独自の文化に触れ、実際に香港を訪れてくださるのを心待ちにしています」と話しました。

「香港映画祭 2024 Making Waves」については、5ページの記事をご覧ください。



11月1日には東京国際映画祭でサム・ハン氏によるマスタークラスも

李家超行政長官が施政方針演説を発表

金融、海運、貿易における香港の優位性をさらに高めるとともに、I&T分野の発展を加速

李家超（ジョン・リー）行政長官は10月16日、「改革で発展を強化し 共に未来を築く」と題した自身3度目となる施政方針演説を発表し、経済発展の新たな推進力を生み出し、暮らしを改善し、生活の質を向上させるための幅広い取り組みを打ち出しました。

香港は金融、海運、貿易の国際的な中心地としての強みを確立していますが、これらの分野は互いと密接に関連しており、相乗的かつ補完的に発展させることが可能です。

金融に関して、施政方針演説は国際金融センターとしての香港の発展をあらゆる面で促す戦略を示しています。世界最大のオフショア人民元業務ハブとしての香港の地位を一層高め、資産および証券市場を強化するとともに、世界クラスの金保管施設の建設や取引メカニズムと規制枠組みの強化などを通じて、香港を国際的な金取引市場へと発展させていく方針です。

海運については、香港海運港湾発展局の設立が発表されました。追加的な予算措置により、研究能力の向上、中国本土・海外向けPRの積極化、人材育成の強化を図ることで、中国本土と海外の海事企業の香港進出を促し、香港海事産業の持続可能な発展を促進します。

一方、貿易分野の施策として、香港政府は高付加価値サプライチェーンサービスセンターの構築を打ち出しました。同時に、輸出信用サービスの充実などを進め、経済貿易緊密化協定（CEPA）のサービス貿易に関する第2次改正協議書によってもたらされる新たな機会も活用しつつ、中国本土・海外企業による本部や関連部門の設置を誘致していきます。さらに、



酒類の輸入関税を引き下げ、酒類の取引および関連する高付加価値産業の発展を後押しします。

香港政府はまた、香港を国際的なI&T（イノベーションとテクノロジー）センターへと発展させるために力を注いでいます。過去2年間に実施された追加投資に加え、100億香港ドルの「I&T産業誘導基金」を設立し、生命・健康テクノロジーや人工知能など戦略的に重要な特定新興・未来産業への投資に、より多くの資金を誘導します。他にも「I&Tアクセラレーター試験計画」を立ち上げて、スタートアップを支援するサービス・プロバイダーを誘致することで、スタートアップの力強い成長を促す施策が発表されました。

施政方針演説の主な内容は、6～7ページをご覧ください。

香港はさまざまな世界ランキングで躍進

世界で最も自由な経済

フレージャー研究所は「2024年世界経済自由度報告書」を10月に発表。香港は165カ国・地域中、最も自由な経済と評価され、昨年の2位から首位に返り咲きました。

金融センター指数

英国のZ/Yenと深圳の中国総合開発研究院が9月に発表した「世界金融センター指数（GFCI）」最新版で、香港は今年3月の前回調査から1つ順位を上げて世界第3位となりました。

世界人材ランキング

9月に国際経営開発研究所（IMD）が発表した「2024年世界人材ランキング」で、香港は順位を7つ上げて世界第9位となり、2016年以来のトップ10入りを果たしています。

デジタル競争力

国際経営開発研究所（IMD）が11月に発表した「2024年世界デジタル競争力ランキング」において、香港の順位は前回から3ランクアップの世界第7位でした。



「香港フィンテックウィーク2024」を開催

アジア最大規模のフィンテックイベントに、100以上の国と地域から3万人を超える来場者が集結

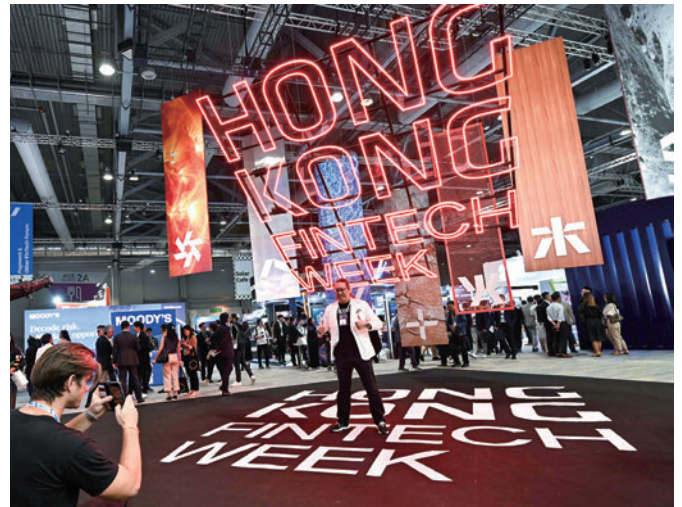
フィンテック関連イベントとしてアジア屈指の規模と影響力を誇る「香港フィンテックウィーク」が、今年も10月28日から11月1日まで開催されました。

AI、ブロックチェーン、Web3など、業界を形作る最先端技術に焦点を当てる香港フィンテックウィークは、金融とテクノロジーの未来に関心を寄せるすべての人にとって参加必須のイベントで、企業が自社の専門的な強みを訴求し、次のレベルへと成長を遂げるための理想的なプラットフォームとなっています。

「フィンテックの新たな道を照らす」をテーマとした今年のイベントには、100を超える国と地域から3万人以上が参加し、香港、アジア、そして世界各地での商機を探りました。

陳茂波（ポール・チャン）財政長官は開会の挨拶で、香港は最も魅力あるグローバルフィンテックハブの1つとして急速に台頭していると指摘。「最新の数字は、香港のエコシステムの活況を物語っている。現在、香港には1,100社以上のフィンテック企業やWeb3企業があり、昨年比で約15%の増加となった。これらの多くは香港外から進出してきた企業だ」と述べています。

さらに陳財政長官は、香港政府が10月28日、金融サービスにおけるAIの責任ある応用に関する政策スタンスと規制面での方針をまとめた声明を発表したことに触れ、「政府では、AIについてデュアル・トラック・モデルを採用するのが適切だと考えている。金融業界におけるAIの導入を引き



続き奨励しつつ、関連リスクを随時評価し、その軽減を図る。政府と金融規制当局は、業界との緊密な協力を通じて明確な監督枠組みを提供し、発展に資する持続可能な市場環境を創出していく」と語りました。



CEPA サービス貿易協定の改正で自由化が一層拡大

香港特別行政区政府と国家商務部は経済貿易緊密化協定（CEPA）のサービス貿易に関する第2次改正協議に合意し、10月9日、協議書に署名しました。これにより新たな自由化措置が導入され、香港のサービス業者や専門家は、広東・香港・マカオ大湾区の珠江デルタ9都市を含む中国本土での企業設立や事業展開が容易になります。第2次改正協議書には、以下のような制度の改革が盛り込まれており、中国本土と香港の経済貿易関係のさらなる強化をもたらすことが期待されます。

- 香港の投資家に向けた円滑化措置として、「港資港法（香港資本企業は契約などの準拠法として香港法を採用できる）」と「港資港仲裁（香港資本企業は仲裁地に香港を選択できる）」の規定を追加
- 現地規制の承諾を追加することで、煩雑な手続きを削減し、企業が市場で自社サービスを提供する際の貿易コストを引き下げ
- 香港のサービス提供者は香港で3年間の実質的な営業実績がなくてはならないというCEPA利用の要件を、ほぼ全てのサービス分野で撤廃。香港のスタートアップへの恩恵や外国投資の誘致が見込まれる

CEPAは国籍に関係なく適用されるため、海外投資家が香港での会社設立や香港企業との提携により、このユニークな取り決めに活用することを歓迎します。

香港と直行便でつながる日本の空港が増加中

香港の航空会社による地方路線開設ラッシュ。富士山静岡空港には初の香港への定期旅客便が就航

香港を本拠とする複数の航空会社が、香港から日本各地への直行便を続々と就航させています。

グレーターベイ航空は10月27日、香港－米子間に定期便を就航させたのに続いて、11月16日に徳島、12月7日には仙台への定期路線をそれぞれ開設しました。

一方、香港エクスプレス航空は11月1日に香港－広島線を再開。高松線は同じく11月1日から週2往復を追加して、デイリー運航としました。また、12月17日には週3便で静岡に新規就航し、同路線は香港と静岡を結ぶ初の定期旅客便となりました。来年1月17日からは、仙台への定期便運航を開始することが決まっています。

さらに、香港航空も12月18日より仙台への定期便を就航しており、香港と日本の間の航空網がますます拡充していきます。



10月27日、香港からの初便到着に合わせて米子鬼太郎空港で開かれた記念式典での平井伸治 鳥取県知事(写真・中央左)、グレーターベイ航空 CEO のリサン氏(中央右)、欧慧心(ウインサム・アウ) 首席代表(右から4人目)



11月1日に行われた「高松－香港線デイリー化記念セレモニー」には、池田豊人 香川県知事(写真・左前列奥から2人目)、香港経済貿易代表部の謝智浩(レオ・ツェー) 次席代表(右前列奥から2人目)らが参加

日本のレストランが「食の都」香港に続々と出店 No.2

前回に引き続き、日系レストランが3社香港に進出しました。

9月12日、香港経済貿易代表部(東京)とインベスト香港が共催した外食企業向けの香港視察ミッションに参加したRDCグループが回転寿司店「がってん寿司」の直営店を香港に初出店しました。香港で本格的な江戸前寿司を提供します。

翌月の10月3日、株式会社物語コーポレーションが、アジアでの海外展開計画の一環として、ハンバーグ専門店「肉肉大米」の香港1号店をオープンすると発表しました。同店では日本産の食材にこだわり、日本の食体験を楽しむことができます。

更に、2024年10月26日には「ミスタードーナツ」の香港1号店がオープンしました。人気を博す同ブランドの海外拡大計画の一環として、香港で展開します。

レストランに限らず、今後も続々と日本ブランドが進出予定です。



(左から) インベスト香港 接客サービス・旅行産業担当部長 シンディー・ウオン、在香港日本国総領事館 総領事(大使) 岡田健一氏(役職は当時)、Dragon Circle Enterprise Limited 最高経営責任者(CEO) ファニー・スー氏、株式会社ダスキン 取締役 執行役員 上野進一郎氏、株式会社ダスキン 執行役員 国際部長 山本一成氏



(左から) RDC HONG KONG COMPANY LIMITED 社長 倉地厚氏、株式会社アールディーシー 代表取締役社長 CEO 大島敏彦氏、インベスト香港 接客サービス・旅行産業部 部長 シンディー・ウオン



「肉肉大米」では手作りの和牛ハンバーグを鉄板で焼き上げたり、ご飯の上のせたハンバーグに卵黄をトッピングしたりして、日本の食体験を楽しむことができます

土地賃借権の50年延長で投資家に安心感

政府土地賃貸借契約延長条例が7月5日に施行され、香港における借地権延長の確実性を担保する法的メカニズムが導入されました。今後数年間で期限切れとなる多数の借地契約の効率的な処理も保証します。

土地局は住宅・商業・工業用賃貸借契約を、追加の地価補填費を課すことなく50年間延長する延長通知を定期的に発行します。この新しい仕組みは「2047年期限」にまつわる疑念を払拭し、投資家に安心をもたらすものです。

詳細はこちら➡ <https://www.landsd.gov.hk/en/land-disposal-transaction/extension.html>

香港映画祭を東京、大阪、福岡で開催

「香港映画祭 2024 Making Waves」で個性あふれる香港映画11作品を上映。香港から大勢のゲストが来日

3度目となる「香港映画祭 2024 Making Waves – Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」が11月に開催され、東京（11月1～4日）、大阪（11月9～11日）、福岡（11月15～17日）の3都市で、日本初上映の新作を含む個性豊かな香港映画が上映されました。今回の映画祭は香港国際映画祭協会が主催し、文創産業発展処の助成と香港経済貿易代表部の後援を受けて行われたものです。

オープニング作品の『ラスト・ダンス』を皮切りに、『トワイライト・ウォリアーズ 決戦!九龍城砦』『スタントマン』『贖罪の悪夢』、そして名作『フルムーン・イン・ニューヨーク』

のデジタル・リマスター版など、全部で11作品を上映。来日ゲストを迎えてのQ&Aは計15回に上りました。

また、東京、大阪、福岡の蔦屋書店を会場に、香港映画のポスターや写真を集めた展示も開催。より多くの日本のファンに、香港映画の活気を体感してもらうことができました。



11月1日のオープニングセレモニーには香港の映画人とともに、香港電影發展局事務局長を務める文創産業發展処の麥聖希（ゲイリー・マック）副コミッショナー（写真・左から2人目）、香港經濟貿易代表部の歐慧心（ウィンサム・アウ）首席代表（左端）も参加



六本木蔦屋書店での香港映画ポスター展

欧慧心首席代表が日本各地を訪問

欧慧心（ウィンサム・アウ）首席代表は、9月に大阪府、奈良県、和歌山県を訪問し、各地の自治体および経済界幹部と意見を交換しました。



山下真 奈良県知事（写真・右）を訪問



下宏 和歌山県副知事と

青森の代表団が来訪

11月26日、青森県の小谷知也副知事率いる代表団が香港経済貿易代表部を訪れ、席上、香港を含むアジア各地への青森県産りんごの輸出状況について説明がありました。香港は2023年、青森県産りんごの輸出先第2位です。



小谷知也 青森県副知事（写真・中央）と謝智浩（レオ・ツェー）首席代表代行（左から3人目）

シンポジウムで香港の価値を再評価

香港経済貿易代表部の謝智浩（レオ・ツェー）首席代表代行は、11月21日に大阪、22日に東京で開催されたシンポジウム「国際ビジネスセンター・ハイエンド市場としての香港の価値を再評価する」に来賓として出席。挨拶では、最新の施政方針演説で発表された施策を取り上げつつ、香港の価値を維持し、向上させようとする香港政府の取り組みを紹介しました。

今回のシンポジウムはいずれも香港貿易發展局が主催したもので、大阪では関西日本香港協会と、東京ではNPO法人日本香港協会との共催で行われました。

行政長官2024年施政方針演説 The Chief Executive's 2024 Policy Address



改革で発展を強化し共に未来を築く Reform for Enhancing Development and Building Our Future Together



2024
施政方針演説
Policy Address



「一国二制度」を全面的かつ忠実に実施しガバナンス体制を強化

- 「一国二制度」の制度的強みを十分に活用し、国家の主権、安全、発展の利益を守るという基本的な前提を堅持
- 司長と副司長が主導する4つの部局横断的な調整機構を設置
 - 教育・科学技術・人材委員会
 - 低空経済発展作業部会
 - 観光スポット開発作業部会
 - シルバー経済推進作業部会
- 公務員のガバナンス能力を強化
 - 公務員の管理と規律に関する規則の見直し
 - 「ガバナンス人材育成計画」の開始
 - 中国本土の各都市と協力の、双方向の「公務員交流計画」を立ち上げ
- 政府と公共部門における人工知能の応用を積極的に推進し、公共サービスのデジタル変革を加速



香港を優秀人材の国際ハブに

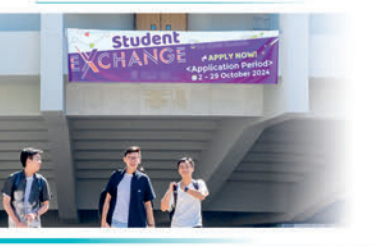
- 教育、科学技術と人材の統合的な発展を進めるため、「教育・科学技術・人材委員会」を設立して調整を行う
- さまざまな人材受け入れの仕組みを改革
 - 才能リストの更新
 - 高度人材通行証計画の対象となる大学リストの拡大
 - 深刻な人手不足に直面している特定の技能職人材の誘致
 - 優秀人材入境計画を通じて、香港に一流の人材を積極的に招聘
 - 香港の大学が大湾区に設けた分校の卒業生が香港で働くための試験的取り組みを、2年間延長
- 高等教育の国際ハブ
 - 「香港未来人材高等教育奨学金計画」を設け、地元学生のさらなる学びを奨励
 - 奨学金やその他のインセンティブの提供を通じて香港外の学生を誘致し、「香港留学」ブランドを確立
 - 商業ビルを学生宿舎に柔軟に転用する市場を支援
 - 「北部都会区大学タウン」開発のため、80ヘクタール超の土地を確保
- 「持ち家計画」の下、抽選番号と中古市場での割当数を増やし、若者の補助金付き分譲住宅購入を支援
- 啓徳社区隔離施設に「青年宿場」を設けるとともに、青年広場を改装して若者のためのスペースとネットワークを拡大



文化、スポーツ、観光の統合的発展と経済の多様化の促進

- 国際的な視点で芸術文化とクリエイティブ産業の多様な発展を推進。「芸術文化・クリエイティブ産業発展詳細計画」を発表
- 西九龍文化地区は、香港の芸術文化とクリエイティブ産業の産業チェーンの確立を先導するとともに文化クリエイティブ観光を促進し、その財政的持続可能性を高める
- アスリートを直接助成する仕組みを強化。国家スポーツ協会のガバナンスを改革。地域社会におけるスポーツを振興し、エリートスポーツを支援し、香港を大規模国際スポーツイベントの中心地として維持し、プロフェッショナリズムを高め、スポーツを産業として発展させることにより、引き続きスポーツの発展を促進
- 啓徳スポーツパークが来年開業。スポーツとメガイベントの一大拠点に
- 「香港観光業発展詳細計画 2.0」を発表し、香港を一流の観光地ステーションに発展させる

- 「観光スポット開発作業部会」を設置して部局間の調整を強化。地域住民の参画を促しつつ、人気観光スポットの特定と開発を進める
- 中小企業への支援を強化
 - 中小企業へのより柔軟なキャッシュフロー管理を可能にするため、元金返済猶予を再開
 - 「BUD 基金」に10億香港ドルを注入し、企業のアップグレードと事業変革を支援
 - 「デジタル変革支援試験計画」の対象を、観光業と個人向けサービス業に拡大
 - 「恒例展示会奨励計画 2.0」の開始に5億香港ドル
- 「シルバー経済推進作業部会」を設置し、同分野における消費、産業、品質保証、財務保障体制、生産性を促進する措置を打ち出す
- 革新的な仕組みの採用により、北部都会区の開発を推進
 - デベロッパーが総合的な開発を行えるよう、まとまった広さの土地を付与する「エリア開発」方式を採用
 - 政府主導の会社を設立し、パイロット工業団地の開発・運営戦略を策定
- 「河套深圳・香港科技创新協力区香港パーク開発概要」を公布し、両パーク間の相互アクセスを促進する革新的な政策を打ち出す



優位性を強固にし さらに高める

国際金融センター

- 国際的な金取引市場を樹立し、世界クラスの金保管施設を設置
- 人民元建て商品の増加や規制体制の改善による効率性の向上など、株式市場に新たな資本と商品呼び込むためのさまざまな措置を実施
- 国との通貨スワップ協定をより有効に活用し、オフショア人民元の流動性を高める
- 高級住宅物件の購入を認めることで「新・資本投資家入境計画」を強化
- 相互市場アクセス深化のため「ボンドコネク」(南行き取引)の適切な拡張を積極的に検討
- 保険分野、特に損害保険業の発展を促すとともに、大企業を誘致して香港でのキャパティ保険会社設立を推進

国際海運センター

- 香港海運港務発展局を設立し、研究能力の向上を図るとともに中国本土および海外でのPRを強化
- 税制優遇措置を導入し、世界の商品取引所が香港に認可倉庫を設立するよう奨励して商品取引のエコシステムを構築
- 船舶仲介、融資・リース、海上保険、海事法、仲裁など、高付加価値海事サービスの開発を推進
- 「グリーン燃料パンカリング行動計画」を公布し、環境にやさしい海運センターとしての発展を加速
- 関係者間での情報共有を容易にするポートコミュニティシステムを完成させ、スマートポートのさらなる発展を図る

国際貿易センター

- 中国本土および海外の企業にサービスを提供する高付加価値サプライチェーンサービスセンターを構築し、それらの企業が香港にオフショア貿易本部を設立しやすくする
- 香港輸出信用保険局の法定最大補償率を95%に引き上げ、中国輸出信用保険会社の香港進出を後押し
- 本部経済を積極的に推進し、香港外から重点企業を誘致。香港企業の外国人社員が中国本土を訪れるための数次ビザは、その有効期間を最長5年に延長
- 酒類の関税率を引き下げ、酒類の取引と関連する経済活動を促進

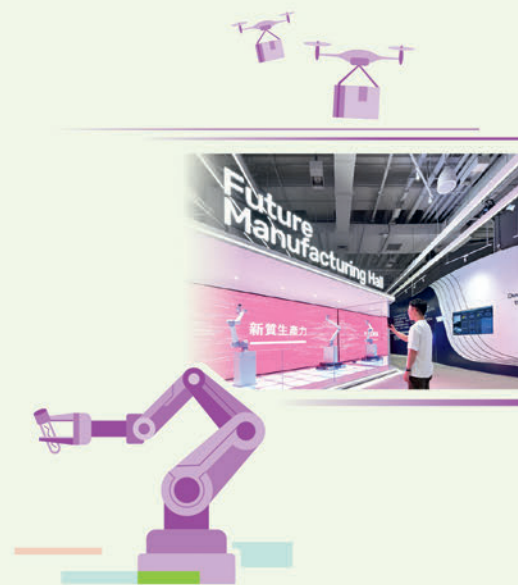


国際航空ハブ

- 滑走路3本体制の処理能力を最大限に活用し、新たな路線や便を開拓
- 「エアポートシティ」の規模を拡大し、世界をリードする新しいランドマークとする
- 「香港国際空港東莞空港センター」第1期を完成させるとともに、第2期開発の計画を早期に立てて、航空貨物分野における優位性を強化

新たな質の 生産力を発展させる

- 香港の新型工業化について中長期計画を策定。「香港新型工業発展連盟」の設立を進め、政府、企業、教育、研究機関、投資部門間の連携を促進
- 先進製造、材料、エネルギー、持続可能な開発に焦点を当てた第3の「InnoHK 研究開発プラットフォーム」設立を推進
- 研究および I&T (イノベーションとテクノロジー) 産業への投資拡大
 - 100 億香港ドルの「I&T 産業誘導基金」を親基金として設立し、戦略的に重要な特定の新興産業と未来産業への投資に、より多くの資金を誘導
 - 15 億香港ドルを再配分して共同基金を設立し、戦略的に重要な産業のスタートアップに投資することで「I&Tベンチャー基金」を最適化
 - 15 億香港ドルの「研究同額拠出助成計画」を開始して、研究活動を支援
- 1 億 8,000 万香港ドルを割り当て「I&T アクセラレーター試験計画」を立ち上げ、香港内外のスタートアップ支援企業に同額拠出方式で香港での拠点設立を促す



- 低空経済発展戦略と部局横断的アクションの策定
 - 低高度飛行の応用シナリオを探索
 - 関連規制の整備
 - 中国本土との連携を推進
 - インフラとネットワークに関する検討
- 香港の国際医療イノベーションハブへの発展を促進
 - 「第一層評価・承認」の採用を目指して「H」メカニズムの適用範囲をすべての新薬に拡大し、「香港医療製品監督管理センター」設立に向けた計画を進める
 - 大湾区臨床試験協力プラットフォームの構築
 - 「リアルワールド研究応用センター」を設立し、香港での新薬承認を加速
- デジタル貿易の発展加速と新たなフィンテック・イノベーション・エコシステムの構築により、デジタル経済を推進



土地を創出し より多くの住宅を建設

- 今後 5 年間で公営住宅の総供給戸数は 18 万 9,000 戸に達する。これは、今期政府発足時に比べて約 80% 増
- 居住用建物内の「割房」(集合住宅の 1 ユニットの複数の小部屋に分割した住居) 賃貸に関する規制を法制化し、秩序あるやり方でこの問題に取り組む
- 住宅取得の可能性を広げる
 - 補助金付き分譲住宅 (SSF) の供給比率を徐々に引き上げる
 - 繰り返し抽選に外れた申込者について、SSF 購入の機会を増やす
 - 公営賃貸住宅 (PRH) の裕福な入居者に関する方針を厳格化するとともに、「持ち家計画」における「緑色の書式」申請者向け住宅の比率を高め、PRH 入居者による購入を促す
- 土地開発手続きを合理化し、テクノロジーと業界のリソースを活用して建設コストを削減
- 香港建築技術研究所は建築技術の研究、開発、応用を促進し、建設業の革新を先導。また、中国本土と基準を合わせる
- 「香港主要交通インフラ整備詳細計画」の実施



医療制度改革の深化

- 医療制度の位置付けと目的を見直し、病院管理局、保健局、プライマリヘルスケア署の機能と役割分担を改革
- プライマリヘルスケアの総合的な発展を推進
 - プライマリヘルスケア署に品質保証と監視メカニズムを確立する権限を与える法律を制定
 - 母子保健・家族計画サービスを再編し、健やかな妊娠・出産を促進
 - 地域薬局プログラムを開始。また、一般的ながんについて対象者のリスクに応じた検診を行う試験計画を立ち上げ
- 公的・民間医療制度の品質指標を策定し、民間医療費の透明性に関する法律の制定を検討
- 地元の大学による第 3 の医学部設立計画を支持し、用地を北部都会区に確保
- 「中医学発展詳細計画」を来年発表し、中医学の国際化を促進
- メンタルヘルスを促進するための「段階的ケアモデル」の開発など、医療、教育、社会の連携を強化

温かく包摂的な社会の構築

- 高齢者のケア
 - 「広東省居住型介護サービス計画」の対象範囲を拡大し、参加する高齢者の医療費を分担
 - 「高齢者居住型介護サービス利用券計画」のサービス利用券の総数を 2 割増やす
 - 総合社会保障支援を受給している高齢者について、広東省の指定居住型介護施設への入居を補助する試験計画を開始
- 介護者をサポートし、「地区サービス・コミュニティアクト」- 高齢者・介護者支援試験計画」を全 18 地区に拡大。要支援帯を特定し、手を差し伸べる
- 「地域総合リハビリセンター」の受け入れ枠を拡大し、障害者のケースマネジメントサービスを強化
- 通訳・翻訳サービスを提供する少数民族支援センターを 1 か所追加し、中国語を母語としない学生の中国語学習や、その親への支援を強化
- 公費助成を受ける独立型保育所の日中保育サービス枠を拡大。また、「近隣支援保育計画」の定員を増やし、働く親をサポート
- 「ケアチーム」を正規化し、次期助成金を 5 割増額
- 従業員再訓練局を改革し、すべての働く人を対象にサービス強化を図るとともに、特定のスキルを獲得するための訓練プログラムと戦略を提供
- 倒産時資金保護基金の見直し。法定最低賃金の年次見直しメカニズム導入。従業員保護強化のため「継続契約」要件の緩和
- ごみ減量とリサイクルへの市民の意見と参加を継続的に評価し、2025 年半ばに立法会に報告

「 発展の勢いを維持し、自己改革を続ける

信念を守りつつ、革新的かつ柔軟に変化を受け入れる」

SPOTLIGHT HONG KONG

映画『トワイライト・ウォリアーズ 決戦!九龍城砦』のセットが空港に出現

香港の大ヒット映画『トワイライト・ウォリアーズ 決戦!九龍城砦』（日本公開：2025年1月17日）の名シーンを再現したセットが、10月7日から11月20日まで香港国際空港の到着ホールに設置され、かつて香港に存在した九龍城砦のユニークな文化と歴史を、没入感をもって体験する機会を訪れる人に提供しました。

12月16日からは、啓徳にある複合施設 AIRSIDE で展示されることが発表されています。



香港經濟貿易代表部 (中華人民共和國 香港特別行政区政府 駐東京經濟貿易代表部)

〒102-0075 東京都千代田区三番町 30 番 1 号 香港經濟貿易代表部ビル
Tel : 03-3556-8980 Fax : 03-3556-8970 (代表部)
Tel : 03-3556-8961 Fax : 03-3556-8960 (企業・人材誘致専門室 兼 投資推進室)
E-mail : tokyo_enquiry@hketotyo.gov.hk

f www.facebook.com/hketo.tokyo/

@ www.instagram.com/hketo.tokyo/

X www.x.com/hketotokyo

香港特別行政区政府
ポータルサイト www.gov.hk

政府広報局提供の
無料ニュースサービス www.news.gov.hk

ブランド香港
Facebookページ www.facebook.com/brandhk.isd

香港經濟貿易代表部の
ホームページです!

www.hketotyo.gov.hk

